

高校生のみなさんからの手紙。

今号では、「高校生と矢板市議会との意見交換会」に参加くださった矢板高校の生徒さんに、意見交換会の感想をいただきました。



矢板高校3年
さいとう つばさ
齋藤 飛翔さん

私は、市議会主催の意見交換会に参加しました。「高校生が考える新しい市役所」というテーマで話し合いました。

私達の班は、子どもが暮らしやすい町づくりを目指して話し合いました。子どもが楽しく、元気に利用できる子ども食堂を提案しました。

発表は緊張しましたが、うまく伝えることができました。他の発表を聞き、他校との交流ができてとても良い体験ができました。この経験を活かして今後も頑張っていきたいと思います。

このような貴重な機会を頂きありがとうございました。

矢板市議会へのご意見・ご提言はこちらまでお寄せください。いただいてから1か月を目安に矢板市議会HPでご回答いたします。

- FAX 0287-44-1100
- Email gikaijimukyoku@city.yaita.tochigi.jp
- 封書など 〒329-2192 矢板市本町5-4 矢板市議会事務局宛

次回3月定例会議(予定)

日	月	火	水	木	金	土
2/23	24	25	26	27	28	3/1
					本会議	
2	3	4	5	6	7	8
	本会議(一般質問)			常任委員会		
9	10	11	12	13	14	15
	常任委員会					
16	17	18	19	20	21	22
					本会議	
23	24	25	26	27	28	29

2/13(木)全員協議会 10:00開会(変更の場合があります。)

議会の動画配信を見る

本会議の様子は市議会ホームページから見ることができます。

矢板市議会公式YouTubeチャンネルはこちら



議会に参加する

議会に対して、陳情等を提出することができます。また、ご意見・ご提言なども随時お寄せください。

議会の活動を知る 本市議会の活動は公式SNSから見るすることができます。

矢板市議会公式Facebookはこちら



矢板市議会公式X(旧Twitter)はこちら



議会の傍聴について

本会議は一般に公開されていますので、自由に傍聴できます。市役所本庁舎3階の議場にお越しください。なお、団体で傍聴される場合は、事前に連絡してください。

議会だよりへの声

より良い議会だより作成のため、皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。

Webアンケートはこちら



編集後記

寒さが厳しい中にも立春を迎え、早いもので新しい議会がスタートして2年がたとうとしています。

今年度は、議会報告会・意見交換会を開催し、市民の皆さまの身近な困りごとなど、数多くのご意見をいただきました。

また、高校生との意見交換会では、高校生の考える「新しい市役所」をテーマにゲーム方式で行いました。候補地となる場所や利便性などを考慮しながら、グループごとにどんな市役所にしたいかを討議していただき、それぞれのグループでとても素晴らしい意見や提案がありました。

市役所の建設については、新庁舎整備検討委員会が設置されていますので、議会として高校生の意見が反映されるよう提案して参ります。

これからも皆さまのご意見を大切に、私たち議員一同、今後の課題についても共有し、より良いまちづくりに努めて参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。(齋藤 典子)

※次号(第229号)は5月1日発行予定です。



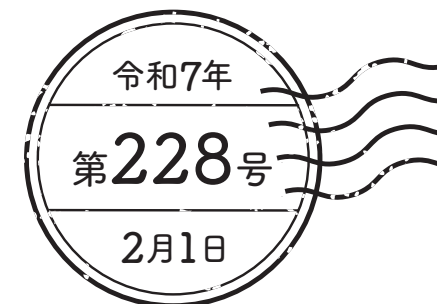
議会広報広聴委員会

◎高瀬 由子 ○神谷 靖 ○宮本 荘山
渡邊 英子 榊 真衣子 齋藤 典子
掛下 法示 佐貫 薫 石塚 政行

※◎は委員長、○は副委員長

矢板市議会だより

YAITA SHIGIKAI 2025



第228号

矢板市議会だより

2025年2月1日



声をチカラに、



声をカタチに…。



議会報告会・意見交換会開催

特集「議会報告会・意見交換会」等 …… 2
審議結果／委員会審査レポート …… 8

矢板市議会ニュース …… 12
市勢発展のために!「一般質問」報告 …… 13
高校生のみなさんからの手紙。 …… 16

編集／議会広報広聴委員会
発行／矢板市議会
印刷／株式会社幕吉

〒329-2192 栃木県矢板市本町5番4号
Tel : 0287-43-6216 Fax : 0287-44-1100
Mail : gikaijimukyoku@city.yaita.tochigi.jp

矢板市議会

検索

議会報告会・意見交換会 高校生と矢板市議会との 意見交換会

皆さまからいただいた
主なご意見を紹介します。

議会報告会・意見交換会

10月6日(日)生涯学習館において、延べ27名の市民の皆さまがご参加され、さまざまな視点からご意見をいただくことができました。今年は、市民の皆さまからいただいた過去の提言・要望を踏まえ、2年間を通し、各常任委員会で課題を精査し、視察研修をもとに午前の部は総務常任委員会(デジタル活用について)、午後の部は教育福祉産業常任委員会(公共施設の活用について)により開催しました。

報告書は
こちら



令和5年度

これまでの
振り返り

二つの常任委員会で担当を分け、過去の提言・要望について課題を精査

行政視察

常任委員会ごとに行政視察を行い先進事例研究(7月)

議会報告会
意見交換会

研究成果を報告し、矢板市で実施すべきことについて意見の聴き取り

提言書
政策提案

いただいた意見をもとに提言書を作成(令和6年度中予定)

高校生と矢板市議会との意見交換会

11月14日(木)矢板市文化スポーツ複合施設において、現在進んでいる矢板市役所の「新庁舎整備検討」に対して、高校生の視点から意見を取り入れるべく、「高校生の考える新しい市役所」をテーマに「YaitaCraft」と称し、ゲーム形式をとって初の「市内の3校合同」で開催させていただきました。環境も地域も違う高校生たちの多様な視点からご意見をいただくことができました。

報告書は
こちら



議会報告会・意見交換会

日時:令和6年10月6日(日)
会場:生涯学習館2階 研修室1

▶ テーマ:デジタルの活用について 担当:総務常任委員会

デジタルを活用した地域通貨やデマンド交通などの先進事例について、視察研修してきたことを議会から報告し、矢板市で実現すべきデジタル化について広く意見をうかがいました。

A班



- 災害時の道路、水道、電気等の寸断状況を市民の側から市のほうに手軽に報告できるようにしてほしい。
- 高齢者はデジタル地域通貨が安心して使えるものか心配。リスクの無いことを周知することも必要。
- デジタル化が進むとどんなコスト(印刷費、郵送費)がどれくらい削減されて、その分の予算がこんな事業に使える、という情報を発信してほしい。

B班



- 少子化、高齢化の課題に対応するためのデジタルを活用した施策(DX)が必要。
- 自治会を抜ける人が多くなっているため、デジタルを活用した施策(DX)で負担軽減を図る。
- 病院の待ち時間が非常に長いので、デジタルを活用した施策(DX)で待たないようにする。

C班



- デジタルによる効率化は「やって当然」。その上で、デジタルを活用して何をするかが大切。
- 地域イベントや市と関わる機会があるが、情報が入ってこない。
- 「知っている人だけが知っている」という状態を打開するべき。

議会報告会・意見交換会

日時:令和6年10月6日(日)
会場:生涯学習館2階 研修室1

▶ テーマ:公共施設の活用について 担当:教育福祉産業常任委員会

廃校を活用した福祉施設や、図書館を中心とした地域活性化の事例について、視察研修してきたことを議会から報告し、文化活動やにぎわいづくりのための公共施設の活用について広く意見を伺いました。

A班



- 企業誘致に特化した施設。(市の補助金で企業が有利な条件で利用できるようにする。)
- 市営住宅のリノベーション。(コミュニティ施設、イベント広場、市役所への利用)
- 子どもにとって車がないと行けない図書館ではなく、交通アクセスを良くして子どもが行きたい時に行ける図書館。

B班



- 運動公園もきちんとしてほしい。ジョギングコースがあつて、綺麗なグラウンドにはならないか。
- ミュージアムなど、子どもたちが使える場所も欲しい。
- 災害のとき対応できる矢板市の宿泊施設が少ない。

C班



- 県民の森を盛り上げたい。他県の県民の森とのコラボなど考えて欲しい。
- 学校跡地の活用を。
- 図書館、文化会館の集約など魅力ある場所に。

高校生との意見交換会

日時:令和6年11月14日(木) 14時~16時
会場:矢板市文化スポーツ複合施設

Yaita Craft 2024 ~高校生が考える「新しい市役所」~



今年は初めて市内の3校合同で開催することができ、高校ミックスでグループワークをしながら意見交換をしていただきました。現在実際に検討が進んでいる矢板市の新市庁舎計画について、高校生の視点も取り入れたいという思いから「YaitaCraft2024」というゲーム形式のプログラムを用意し「高校生が考える新しい市役所とその周辺のまちづくり」をテーマに、カードを選びながら「自分たちの市役所計画」を作成し、プレゼンテーションをしていただきました。

このプロジェクトで私たちが重視したのは、高校生たちが「どんなまちを目指すのか」「なぜそのように考えるのか」をグループで話し合うなかで、高校生たちの率直な意見を聴き取ることでした。

実施後のアンケートでは、「有意義だった」「また3校合同でやりたい」というご意見を数多くいただいたので、次年度も合同で開催できるように計画したいと考えております。

今回高校生からいただいた新市庁舎についてのご提案は、矢板市の新市庁舎整備検討において議会として提言してまいります。また、議論のなかでいただいた貴重なご意見についても、その視点をこれからの矢板市のまちづくりで具現化できるように全力を尽くしてまいります。

Yaita Craft 2024 とは…



15枚のコンテンツカードと、5枚の場所カードの組み合わせで「新しい市役所とその周辺のまちづくり計画」を作成します。コンテンツカードには、「経済」「防災」「子育て・教育」「健康」「交流」「地球環境」の6項目のうち、そのコンテンツによって強化できる項目のポイントと、そのコンテンツを取り入れるのに必要な予算がついています。白カードは自由にアレンジできます。この中から7枚のカードを選び、最後にその市役所を配置する場所を選択し、ポイントと必要な予算を合計して完成です。各グループの計画は、どのようなものになったでしょうか？

次ページに掲載▶

高校生との意見交換会

A班



子供がすくすく育つ 未来ある市役所

- 少子化に適切に対応する。
- 移住者を増やす。
- 安定した企業の誘致。
- 子どもたちが差別なく、楽しく安全に暮らせるまち。
- 保護者に対する支援。
- フリースクールの充実。
- 子ども食堂の設置。
- 大学病院、産婦人科の誘致。
- 大型レジャー施設の誘致。

子育てしやすい市役所

- 選んだ項目の中で、子育てしやすい市役所にしたい。
- 病院が近くにあればすぐに行ける。
- コンビニや、商業施設などがあったらテナント契約で収入が入る。
- 市役所に行ったついでに若い人は図書館も行けるので図書館があるといい。
- イベント広場があつたらいい。
- 矢板市はサッカーの街。サッカーが盛んであれば学生が増える。
- 学生が増えれば家族世帯も増える。家族世帯が増えれば、矢板市の人口が増える。



B班



C班



市役所寄ってかね?と言える市役所

- 市役所は敷居が高く、行きづらい施設のため、楽しむことができて行きたいと思えるものが欲しい。(イベント広場、大規模な娯楽施設)
- 小さいときから慣れ親しんでいれば行きやすくなる。(保育所)
- 県庁のような食事ができる場所があるといい。(レストラン)
- 放課後などに集える場所が少ない。(図書館、イベント広場)
- 子どもからお年寄りまで楽しめて、健康にも役立つ施設がほしい。(温泉スパランド)
- 「市役所に寄ってかね?」と言えるような市役所が欲しい。

各班の発表内容を公開

経済発展をねらい、交流関係を築ける市役所

- 多世代の交流ができる市役所になってほしい。
 - ①図書館・フリースペース等を併設する。
 - ②地産地消のレストランを併設し、一次産業の活性化に繋げていく。
 - ③多目的広場を作り、イベントの多い市役所にしたい。
 - ④アミューズメント施設を創る。(カラオケ・ボウリング・映画館など)
- 地球環境に配慮した市役所を造りたい。
 - ①地域産材を有効に使い、ぬくもりのある市役所を建設する。
 - ②施設の屋上に太陽光発電システムを付ける。
 - ③防災機能の優れた市役所。
- 子育て支援・教育を重視した市役所。
 - ①病院を併設する。 ②フリースクールを併設する。
 - ③一時保育・病児保育施設がある。

D班



幅広い世代から愛される市役所

- レストラン:いつでも家族一緒に来られる。
- 保育所:共働きの家庭に役立つ。
- 木材:地球にやさしい木の温かみがある。
- フリースクール:子どもの宿題のお手伝いとして。
- 屋上菜園:売り上げを見込める。レストランで使う。
- イベント広場:皆が楽しめる。
- 「幅広い世代に愛される市役所」
- 周辺に多世代交流施設とプール、屋上に太陽光パネル、屋上菜園をつくり、市役所や周辺に来た人たちが楽しく交流できる場所。



E班



経済活動と子育てが両立されている市役所

- 市役所は学生にとって行く機会があまりないが、食事やイベント、フリースペースなど人が集まり活動できる施設であれば交流が生まれる。
- ヒトモノカネが循環し、地域の活性化につながる市役所であってほしい。
- 地域産材を使って地域に貢献する。
- 駅から近く、比較的人通りの多いところに市役所をつくり、経済活性化の効果を最大限に引き出してほしい。

F班



【詳細QR】



12月定例会議の審議結果

第399回 12月定例会議 - 11月29日～12月12日 -

議案番号	件名	議決結果
選挙第1号	選挙管理委員及び補充員の選挙について	選挙
議案第1号	令和6年度 矢板市一般会計補正予算(第7号)	全 会 一 致 原 案 可 決
議案第2号	令和6年度 矢板市介護保険特別会計補正予算(第2号)	
議案第3号	令和6年度 矢板市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	
議案第4号	令和6年度 矢板市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	
議案第5号	矢板市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の一部改正について	
追加議案第1号	令和6年度 矢板市一般会計補正予算(第8号)	
追加議案第2号	令和6年度 矢板市介護保険特別会計補正予算(第3号)	
追加議案第3号	令和6年度 矢板市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	
追加議案第4号	令和6年度 矢板市水道事業会計補正予算(第2号)	
追加議案第5号	令和6年度 矢板市下水道事業会計補正予算(第2号)	
追加議案第6号	矢板市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	
追加議案第7号	矢板市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	
追加議案第8号	矢板市職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	

議案をこのように審査しました。

委員会審査レポート

予算決算常任委員会

◎小林勇治 ○櫻井恵二 渡邊英子 榊真衣子
齋藤典子 神谷 靖 石塚政行 掛下法示
宮本莊山 高瀬由子 関由紀夫 伊藤幹夫
佐貫 薫 石井侑男

総務常任委員会

◎神谷 靖 ○櫻井恵二 榊真衣子 石塚政行
関由紀夫 伊藤幹夫 石井侑男

議案第1号

・令和6年度 矢板市一般会計補正予算(第7号)

概要 歳入歳出にそれぞれ2億5452万4千円を追加計上し、予算総額を158億4169万5千円に補正しようとするもの。

議案第2号

・令和6年度 矢板市介護保険特別会計補正予算(第2号)

概要 歳入歳出にそれぞれ68万5千円を追加計上し、予算総額を32億211万5千円に補正しようとするもの。

議案第3号

・令和6年度 矢板市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

概要 歳入歳出にそれぞれ1767万5千円を追加計上し、予算総額を35億8423万円に補正しようとするもの。

議案第4号

・令和6年度 矢板市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

概要 歳入歳出にそれぞれ4958万5千円を追加計上し、予算総額を5億5808万5千円に補正しようとするもの。



議案第5号

・矢板市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の一部改正について

概要 栃木県における宅地造成及び特定盛土等規制法の運用開始に伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。



～矢板市へようこそ～ 全国からの行政視察、増加中!

矢板市の先進的な取り組みなど、注目いただいている施策に対して、全国の自治体が視察に来てくださいました。
令和5年4月から令和7年1月までの約2年間で18件の受け入れを行いました。

- 1 令和5年7月3日
埼玉県宮代町／12名
・議会改革の取り組みについて
- 2 令和5年7月20日
熊本県玉名市／9名
・矢板市気候変動対策計画について
- 3 令和5年8月10日
宮城県登米市／8名
・矢板市林業・木材産業成長化推進協議会の取り組みについて
- 4 令和5年10月24日
熊本県宇土市／9名
・デジタルバリアフリーのまちの取り組みについて
- 5 令和5年10月24日
大分県豊後大野市／7名
・通年議会について
- 6 令和5年10月25日
北海道留萌市／8名
・休日部活動の地域移行について
- 7 令和5年10月31日
宮城県東松島市／6名
・放課後学習支援事業（公営学習塾）について
- 8 令和6年1月9日
静岡県袋井市／10名
・オンラインによる委員会開催について
・通年議会の運営等について
・予算決算常任委員会の運営等について

- 9 令和6年1月19日
宮崎県小林市／11名
・議会改革の取り組みについて
 [特にオンライン委員会及び
 一般質問におけるパネル等の
 持ち込みについて]
- 10 令和6年1月26日
愛媛県新居浜市／12名
・議会改革の取り組みについて



オンライン行政視察

- 11 令和6年8月22日
栃木県高根沢町／8名
・矢板市文化スポーツ複合施設の整備について
- 12 令和6年10月1日
栃木県那須烏山市／6名
・矢板市文化スポーツ複合施設について
- 13 令和6年10月16日
福島県須賀川市／10名
・議会広報について
・SNS等を活用した情報発信について
- 14 令和6年10月21日
茨城県つくばみらい市／11名
・常任委員会の所管事務再編の経緯について

- 15 令和6年10月31日
福島県猪苗代町／7名
・議会報告会・意見交換会について
- 16 令和6年11月5日
北海道紋別市／8名
・移住定住関連施策について
- 17 令和6年11月12日
山梨県都留市／11名
・森林環境譲与税の活用について
- 18 令和6年11月19日
宮城県気仙沼市／12名
・予算決算常任委員会について
・通年会期制について

請願・陳情はこんな方法で

請願・陳情は、市民の皆さまの要望を市政に反映させるための制度です。
請願書・陳情書を提出する方は、この要領でご持参ください。

様式

- ・用紙サイズはA4版。下の様式に準じて日本語で作成してください。

内容

- ・簡潔な要旨、理由、提出日、請願者（陳情者）の住所を記載し、署名の上、ご提出ください。
- ・1つの請願・陳情につき、1つの趣旨にしてください。
- ※署名が難しい場合は、記名（パソコン等による印字または代筆）の上、押印してご提出ください。
- ※請願書には、必ず1人以上の紹介議員（矢板市議会議員）の署名、または記名押印が必要です。
- 陳情書には紹介議員は必要ありません。
- ※道路や水路等の場合は、地図の写しや略図を添付してください。

受付期日

- ・定例会議（3月、6月、9月、12月）初日の10日ぐらい前までにご提出ください。
- 市役所が閉庁のときを除き、いつでも受け付けています。
- ・必ず議会事務局職員にお渡しください。

請願書様式

（表紙）
○○○○○に関する請願書
紹介議員 氏 名

（内容）
件 名 ○○○○○に関する請願
要 旨
理 由
地方自治法第124条の規定により、
上記の請願書を提出します。
年 月 日
請願者（代表）
住 所
氏 名 ○○○○
（連名のときは末尾に署名簿を添え、ここ
には代表者を記載し、ほか何名とする。）
矢板市議会議長 様

陳情書様式

（表紙）
○○○○○に関する陳情書

（内容）
件 名 ○○○○○に関する陳情
要 旨
理 由
年 月 日
陳情者（代表）
住 所
氏 名 ○○○○
（連名のときは末尾に署名簿を添え、ここ
には代表者を記載し、ほか何名とする。）
矢板市議会議長 様

お問い合わせ先：議会事務局 TEL: 43-6216

【詳細QR】



市議会の旬をお知らせ

矢板市議会ニュース

祝! 矢板中央高校・ヴェルフェU-12 全国大会出場!!

12月12日、矢板市議会はエールを送るため足利銀行様にご協力をいただき、懸垂幕を掲げました。

第103回全国高校サッカー選手権大会において、矢板中央高校は2年連続14回目の出場で、昨年12月29日に岡山学芸館、12月31日に日章学園、今年1月2日に上田西と熱い戦いを繰り広げました。

また、第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会において、矢板中央高校(女子)は2年ぶり2回目の出場で、昨年12月23日に英明高等学校と熱い戦いを繰り広げ、大会初となる初戦突破を果たしました。

そして、JFA第48回全日本U-12サッカー選手権大会において、ヴェルフェ矢板U-12は4年連続6回目の出場で、昨年12月26日から29日にかけて、鹿児島県鹿児島市を会場に熱い戦いを繰り広げ、1次ラウンドを勝ち抜きました。

どの試合も最後まであきらめない、粘り強い戦いに胸が熱くなりました。



この1年間で100名以上増加!
ぜひご登録ください。

Facebook登録者急増中! フォロワー300人を突破!



矢板市議会公式SNS

矢板市議会では公式FacebookやX(旧Twitter)で様々な情報をお届けしています。



Facebook
フォロワー数: 306人
(R7.1.8時点)



X(旧Twitter)
フォロワー数: 116人
(R7.1.8時点)

市勢発展のために!
「一般質問」報告

市政を 問う。

12月定例会議

市政の課題や将来の展望について質す一般質問。
12月議会では、5人の議員が質問をしました。
「矢板を良くしたい!」
各議員の熱い思い、ご一読ください。



不登校の子どもが学べる特別教室の設置について

質問 不登校になってしまっている子どもたちが、自分のクラス以外で登校できる教室を学校内に設置できないか。

答弁 本年度から矢板中学校に校内教育支援センターが設置され、専門の職員が対応をしている。片岡中学校でも校内教育支援センターを設置しているが、教員が交代で運営しているため、来年度には片岡中にも専門の職員の配置を考えている。小学校についても校内教育支援センターの設置に向けて検討を進める。不登校の状況にある児童生徒にとって安心して通える第2の教室となるよう学習環境を整え保護者と連携しながら、学びの保障を充実していく。



渡邊 英子 議員

今回の質問

1. 不登校対策について
2. チャレンジハウスについて
3. 不登校の子どもたちの義務教育終了後の支援について
4. 特別支援学級の補助員について

チャレンジハウスのエアコン設置について

質問 生徒数も増え、現在使用している部屋だけでは狭い状況にある。他にも使用できる部屋はあるが、エアコンが無く、真夏は使用できない。子どもたちが学びやすい環境を整えるためにも、エアコンの設置はできないか。

答弁 現在、4か所の部屋のうち、2か所にエアコンを設置している。児童生徒が安心して活動を行える環境を整えるためにも、エアコンの設置は必要であると考えており、来年の猛暑前までには、和室のエアコン設置を進めていく。残る洋室については、吹き抜け天井の改修工事や受変電設備改修工事が必要となるため、今後の活動状況を見て改めて検討していく。



神谷 靖 議員

今回の質問

1. デジタル社会への取り組みについて
2. 避難所トイレの洋式化について
3. 投票機会の拡充による投票しやすい環境づくりについて
4. 手話言語条例の制定について

“手話は言語”という環境づくり訴える

質問

ろう者らが安心して暮らせる共生社会の推進力となる「手話言語条例」の本市の対応について見解を伺う。

答弁

手話言語条例は、多くの自治体で制定が進んでおり、県内でも4市2町が制定している。これまで県内関係団体から要望を受け、条例制定について検討してきており、その必要性はあると認識している。矢板市地域自立支援協議会にも協力いただき、条例制定の準備を進めていく。また、国・県の法律等に基づいて、全ての障がい者が情報を取得し、円滑に意思疎通を図れるよう、引き続き支援策の充実に取り組んでいく。

公共施設へのネット環境の拡充を求める

質問

「デジタル活用」をテーマにした市民との意見交換会において、デジタル化を進める上でインターネット接続環境の整備を求める意見があった。公共施設における市民向けWi-Fi環境の拡充について伺う。

答弁

市役所で市民向けWi-Fi環境を整備することで、電子申請の拡充や情報提供など利便性や市民サービスの向上ができ、また講座開設時などで学びの充実も期待される。そのほか、災害時の情報伝達拠点になるなど、多くのメリットが見込まれる。セキュリティ対策などの課題に対し、本市施設の現状を踏まえ、導入に向けた整備方針を早急に検討する。



高瀬 由子 議員

今回の質問

1. 全国へ向けた企業誘致
ーオール矢板でー
2. 小学生対象の放課後学習
塾クラス新設について
ー世界水準の教育の実現のためにー
3. 英語検定、数学検定助成制度
ー誰一人取り残さない教育のためにー
4. 進学のための支援金について
ー次世代を担う子どもたちの夢実現のためにー

オール矢板で全国に向けた企業誘致を!

質問

矢板市企業誘致条例による企業立地優遇制度をさらに周知し、企業誘致推進員に人脈のある方々を増員して、矢板市の魅力と優位性を周知し、万全の態勢で取り組むべき時である。今後の取り組みについて伺う。

答弁

「とちぎ企業立地・魅力発信セミナー」に参加し、企業の多様な立地ニーズを把握した。本社機能の地方移転やベンチャー企業誘致の新規奨励金の創設、既存奨励金の拡充について制度設計を進める。企業誘致条例の改正による制度の拡充、金融機関や不動産開発事業者を含む企業誘致推進員の増員による、さらなる周知に取り組む。

再質問

矢板市ならではの誘致後の支援も併せて周知し、誘致を推進していただきたい。

誰一人取り残さない教育、検定助成制度を!

質問

近年、検定料の助成を行う自治体が増加している。検定受検により、学習の動機付けになるとともに子どもたちの自信にもつながり自己肯定感の醸成に大いに寄与する。「世界水準の教育の実現」を目指す矢板市では、英語検定、数学検定の受検費用を助成し、教育費の負担を軽減する制度を構築してはかがが。

答弁

現在県内の約4割の市町において小中学生を対象とした英語検定等の受検助成制度を実施している。学力向上は喫緊の課題であり、先進市町の成果や課題等の実情を把握し、有効な制度となり得るか見極めながら調査研究を進める。

再質問

家庭格差により子どもたちの将来が変わらないよう誰一人取り残すことなく取り組んでいただきたい。



榊 真衣子 議員

今回の質問

1. 地の利を生かした関係人口の創出と、移住定住へつなぐための施策について
2. 若い女性も住み続けたいまちであるために

関係人口の創出と移住定住へつなぐための施策について

質問

「広域的地域活性化基盤整備法」の改正を受けて、本市の二地域居住推進の取り組みの意思について伺う。

答弁

本制度は、移住促進に加え、空き家の増加や農林業の人手不足などの重要な課題解決の一助となり得ると期待している。矢板市版二地域居住を推進するために、本制度の活用は極めて有用なものと捉えており、県に対して必要な働きかけを行うとともに、市の計画策定に向けて準備を進めながら、二地域居住の取り組みを積極的に推進していく。具体的には、外部人材と連携し、二地域居住等支援法人の設立支援や指定を検討しているほか、二地域居住者の居住空間確保のために、シェアハウスや空き家等の活用や農泊の推進等のニーズを調査研究していく。

若い女性も住み続けたいまちであるために

質問

女性のキャリアサポート事業として「市内企業見学バスツアー」や「ママのための就職ガイダンス」を実施しているが、それぞれの成果に対する認識と、今後の方針について伺う。

答弁

市内企業3社に訪問したバスツアーには12名の参加があり、参加者から率直な意見を聴き取ることができたが、より多様な企業に触れたいとの意見もあった。それを受け、本年度は幅広い業種の15社が出展する、県内初の官民連携による女性向け就職ガイダンス「ママトオシゴト」を開催した。お子様連れの方など69名が来場し好評だった。これらの事業で得た知見を次の取り組みに生かし、今後も働きたい女性の支援と、働きたい女性を受け入れる企業の支援強化に努めていく。



掛下 法示 議員

今回の質問

1. 矢板駅構内跨線人道橋へのスロープ設置について
2. 物品購入時の予定価格と取得価格との精度向上について
3. 道路政策について
4. 矢板市文化スポーツ複合施設について

道路補修計画日程の提示について

質問

市道の道路補修対策を依頼し、2年近く経過しても、いつ実行するか連絡がなく不安となっている。実施時期の回答がないまま待たせることは、行政と市民との信頼度を保つ上で望ましくないと考える。市民や区長からの問い合わせに対して納得できるように、道路工事の優先順位や工事日程について説明いただきたいと思うがいかがか。

答弁

工事計画の状況を市民に理解いただくために、各行政区から寄せられた道路整備要望を一覧化し、対応状況を「見える化」する取り組みを進める。選定基準や費用などを含め優先度を再考し、ホームページ等で公開する予定である。

スーパー道ぶしん補助金制度の用途拡大について

質問

現在は制度の対象が舗装に係る工事のみとなっている。今後は舗装以外の道路側溝の破損による交換や、道路の狭い箇所の側溝蓋の追加、道路にたまる雨水排水のための小規模な側溝整備等に、スーパー道ぶしん補助金制度を利用できるよう補助対象の拡充を期待するが、市の考えを伺う。

答弁

舗装以外の要望については、道ぶしん原材料支給制度の活用をお願いしている。しかし、昨今のゲリラ豪雨などによる道路冠水等が発生しており、破損した側溝の交換や側溝整備等の必要性を認識していることから、舗装整備以外も補助金の対象とすることを検討する。

【詳細QR】

